



年 組 名 前

# 道新 ワークシート

## 帯広市のパートナーシップ制度とは

2月に開かれた帯広市パートナーシップ制度の市民意見交換会



帯広市は、秋にもLGBTなどのカップルを婚姻相当の関係と認める「市パートナーシップ制度」の運用を始めます。これに合わせ、行政サービスを見直し、同性のカップルを配偶者と同じように見なし、市営住宅に入れるようになり、多様性を認め、みんなが暮らしやすい社会を目指します。

D



暮らしやすく

見市、江別市で導入されています。同性のカップルは家族と認められず、病院で付き添いができない、生命保険の受取人になれないなどの不利益を被ることがあります。そのため自治体が独自に認定し証明書を発行することで、さまざまなサービスや社会的な配慮を受けやすくなるようにします。

帯広市はこれまで、市民団体などから意見を聴いており、帯広市の制度は、当事者2人が公正証書などで結んだ契約を市が確認する「証明制度」と、契約書が必要ない「登録制度」から選ぶ仕組みにしました。証明制度は、契約書などを作るための手間や費用がかかる一方、企業などの理解や協力が得られやすいという利点があります。登録制度は、書類作成などのハードルは低いですが、民間サービスの対象外となる可能性があります。

市は制度開始に合わせて、親族のほか事実婚や婚約者同士ら異性カップルに限られる市営住宅の入居者をパートナーシップの利用者にも広げます。市職員についてはパートナーの各種手当を配偶者と同じく支給し、結婚や介護などに伴う休暇も取れるよう検討しています。

民間でも、同性のカップルが携帯電話の家族割を使ったり、住宅の賃貸契約で管理会社や大家の理解を得やすかったり、多様な家族を認める動きが広がっています。市はほかにも、各種書類から不要な性別記入欄を無くすなど、性的少数者が暮らしやすい環境づくりを進めています。

(水野薫)

2022年6月15日（水）朝刊 帯広・十勝版 27ページ（記事は再編集しています）

①帯広市の「市パートナーシップ制度」で、選ぶことのできる二つの制度について、以下の表にまとめました。  
(A) ~ (C) に当てはまる言葉を記事から書き抜きなさい。

制度名	( A )	登録制度
利点	企業などの理解や協力が得られやすい。	( B ) などのハードルが低い。
課題点	( C ) などを作るための手間や費用がかかる。	民間サービスの対象外となる可能性がある。

(A)

(B)

(C)

②記事の D に当てはまる言葉を記事から五文字で書き抜きなさい。

--	--	--	--	--